

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

☆最初のISS構成要素打上げから2993日経過しました**☆第14次長期滞在クルーのISS滞在は132日経過しました****☆ISS動向**

第14次長期滞在クルーのマイケル・ロペズ-アレグリア、ミハイル・チューリン、スニータ・ウィリアムズ宇宙飛行士は、2月中に4回行われる船外活動の準備作業と、1月20日にISSに到着したプログレス補給船(24P)からの荷下ろし作業を行いました。

船外活動は2月1日、2月4日、2月8日、2月22日に予定されています。

最初の3回は、ロペズ-アレグリア、ウィリアムズ宇宙飛行士が米国の宇宙服を着用してISSの「クエスト」エアロックから船外へ出る予定です。この作業ではISSの能動熱制御系システムの配管接続作業など、昨年12月のSTS-116ミッションで行われた作業の続きを行い、完了させる予定です。2月22日の船外活動は、ロペズ-アレグリア、チューリン宇宙飛行士がロシアの宇宙服を着用して「ピアース」(ロシアのドッキング室)から船外に出る予定です。ISSの後方にドッキングしているプログレス補給船(23P)をISSから安全に分離させるために、23Pの動かなくなってしまったアンテナに関わる作業を行う予定です。

船外活動の様子はNASA TVでご覧になれます。最初の船外活動は2月1日前0時から約6時間半行われる予定です。

●NASA TV <http://iss.sfo.jaxa.jp/gallery/video/nasatv/index.html>



ISS内に保管されている米国の宇宙服
(提供: NASA)



ISSに接近するプログレス補給船(24P)
(提供: NASA)

“スペースシャトル・アトランティス号(STS-117)の状況”

NASAケネディ宇宙センター(KSC)では、STS-117ミッションで飛行するスペースシャトル・アトランティス号の準備が進められています。スペースシャトル組立棟(VAB)内では、STS-117用外部燃料タンク(ET-124)と固体ロケットブースタ(SRB)との結合作業が行われました。また、オービタ整備施設(OPF)では、米国時間2月7日に予定されているアトランティス号のVABへの移動に備え、最終作業が行われています。

米国時間1月24日に、NASAはSTS-117ミッションの打上げ予定期日をこれまでの計画から一日早め、米国時間3月15日としました。なお、正式な打上げ日は、打上げ予定期日の2週間前に開催される飛行準備審査会(Flight Readiness Review: FRR)で決定されます。



外部燃料タンクの結合前(左)と結合後(右)(提供: NASA)

“インフォメーション”**☆冬の夜明けにISSを見よう！**

1月31日から2月上旬まで、朝5時から6時台と早朝ですが、ISSが日本上空やその近くを飛行するため、天気が良ければ多くの街でISSを観測することができるでしょう。

ISSきぼう広報・情報センターの「ISSを見よう」ページでは、右図のように日本地図上に各地の目視予想をひとめで分かりやすいように表示しています。

各地のISS観測日時など最新情報は下記ホームページで確認してください。

●きぼう広報・情報センター「ISSを見よう」 <http://kibo.tksc.jaxa.jp/>



2月1日5時55分頃のISSの飛行経路

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール kibo-pao@jaxa.jp

Wi-Fiクリーニュースマーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼう Wi-Fiクリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本Wi-Fiクリーニュースから転載した旨を記述ください。